

中長期スケジュール

実施項目	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025～2030年度
都市の3Dデジタルマップ化プロジェクト	仕様構築検討	ユースケースや技術動向に応じたフォローアップ（継続的にアジャイル）				
	パイロットマップ作成	モデルエリアの3Dデジタルマップ作成	都市再生緊急整備地域の3Dデジタルマップ作成	【23区】23区全域(LOD1)、都市開発諸制度拠点地区(LOD2)を全域整備	【多摩部】都市計画区域内(LOD1)を全域整備	【都内全域】データ更新・精緻化(持続可能なスキームの構築)
		仕様のアップデート	点群データ取得(区部市街地全域)	【多摩部】市街地全域(LOD1)、都市開発諸制度拠点地区(LOD2)を全域整備	【島嶼部】全域(LOD1)を整備	
		ユースケースの検証				
詳細工程(案)	●仕様・ガイドライン 仕様書(案)の策定 仕様書のブラッシュアップ 提供・利用ガイドライン策定	仕様書(案)策定	仕様の深度化検討等 改定	要件定義書・データ製品仕様書の改定	必要に応じて仕様の拡張・改定（継続的にアジャイル）	
	●データ整備・更新 パイロットマップの作成 モデルエリアのデータ整備 データ整備エリアの拡大	パイロットマップ作成	モデルエリアのデータ整備 手法比較検討・積算	整備エリアの拡大検討・実施	整備エリアの拡大実施	官民連携によるデータ更新
	●システム導入・運用 庁内用システムの試験導入 庁内用システムの本格導入 公開用システムの導入	要件定義作成	概略検討等 仕様の深度化検討等	設計 システム構築 ハードウェア調達 テスト 運用開始	適宜運用見直し（継続的にアジャイル） ※随時ライセンス拡大 ※公開用システムは、官民連携データプラットフォーム等の動向を踏まえ構築検討	
	●ユースケース検証 机上調査・パイロットマップ検証 モデルエリアでの検証 より広範なユースケースの検証	机上検証	モデルエリアでユースケース検証	エリアを拡大してユースケースを蓄積 実サービスとして実装	実サービスとして実施・拡大	
	●運用スキーム 運用スキーム案の検討 運用スキームの選定	運用スキーム案検討	運用スキームの選定 準備	他局と連携したシステム運用検討	運用見直し（継続的にアジャイル）	

【デジタルツインの基盤整備】

- 各局及び民間事業者が活用できる共通基盤データとして、都内全域の3D地形データを2022年度中に取得し、順次、デジタルツインに反映していく。【拡充】
- モデルエリア（西新宿、都心部、ベイエリア、南大沢）に加え、都市再生緊急整備地域など順次都市の3Dデジタルマップを整備の上、実装・運用を進め、2024年度までに都内全域で整備する。【拡充】

具体的な取組	2021年度末 (見込み)	年次計画		
		2022年度	2023年度	2024年度
3Dデジタルマップの作成	西新宿、都心部、ベイエリア、南大沢を対象として作成	点群データ取得 (区部市街地全域)	3D都市モデル整備 (23区内、多摩部)	3D都市モデル整備 (多摩・島しょ部)
		3D都市モデル整備 (都市再生緊急整備地域)		

出典：「未来の東京」戦略 version up2022 アクションプラン（2022年2月）

➤ **都市の3Dデジタルマップ化【都整】** ④2億円（③0.7億円）
都市情報の3Dマップ化による「バーチャル東京」を構築

新 ➤ **点群データ取得事業【デジ】** ④7億円（新規）
防災分野のシミュレートをはじめ各局事業への活用や、民間事業者の利活用等を目指し、各局の共通基盤として都内の地形点群データを取得

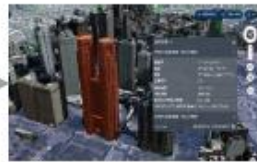
点群データや3D都市モデルの各局事業への活用

①点群データ取得



(出典元：静岡県)

②3D都市モデルの構築



②土台データとして活用



(出典元：静岡県)

③各局事業で活用



* 点群データ：空中写真やレーザースキャナで測量したあらゆる地点の地形を3次元で把握したデータ

出典：東京都予算案の概要（2022年1月）

